

## 【解説】

名刺はその人の「顔」ですから、その人の目で何か書き込んだり、汚したりするのはたいへん失礼です。林さんのように相手の目の前で、名刺に何か書き込むのは失礼ですね。名前が聞き取れなかったときは、遠慮しないで聞きましょう。そのときは「恐れ入りますが」を使って丁寧に言います。聞き取れなかった場合には「恐れ入りますが、もう一度お名前をお願いいたします」、漢字が読めない場合は「恐れ入りますが、何とお読みするんですか」と言えばいいでしょう。名刺には、片面がローマ字表記ひょうきになっているものもありますから、漢字の読み方がわからないとき、参考になりますね。相手の名刺をいただいたら、その場で目を通します。そして「〇〇様でございますね」と復唱し、確認するように心がけましょう。名刺をファイルするために、後で日付ひがつなどを書き込むのはかまいません。

練習 1. 名前を聞き返し、確認する練習をしましょう。

<例> エービー工業、佐藤さとう

→ A: 恐れ入りますが、もう一度お名前（を）お願いいたします。

B: 私、エービー工業の佐藤と申します。

A: エービー工業の佐藤様でございますね。

(注) ユニット I で使った名刺を利用して、クラスメートと練習しましょう。

練習 2. 練習 1 の表現を使って、名前以外のものも練習しましょう。

<例> 電話番号, 3123-4567

→ A: 恐れ入りますが、もう一度電話番号（を）お願いいたします。

B: 3123-4567 です。

A: 3123-4567 でございますね。

① 電話番号, 3987-6543      ② 会社名, 日本工業

③ 住所, 〒115 東京都渋谷区代々木 3-22-1      (〒: 郵便番号)  
とうきょうとじまやきくくよぎ      ゆうびんばんごう

## 豆知識

## 「お」と「ご」

お電話番号, お名前, ご住所, ご連絡先      (「お」がつかない: 郵便番号, 会社名)

## 【ユニット III】 自分の名前を印象づけるには

林さんは、名刺交換にも慣れすぎてきたので、最近きんは緊張きんぱうせずに、余裕よゆうを持ってできてきたようになりました。今日、林さんは、得意先とくいせんのエービー工業の営業部を訪問しました。辻部長から新入社員の井上さんを紹介されました。辻部長は、井上さんが最近北京語ペキンゴの勉強を始めたことや、林さんと年が同じことなどを話しました。林さんは井上さんに親近感しんきんかんを持ちました。そこで、自己紹介のとき北京語の発音で名前を言ってみました。ところが…。

井上: はじめまして。私, 井上と申します。

林: 私, 東京工業, 営業部のリン・シュエツェンと申します。

井上: リンジュエ…、リンジュエ

林: いえ, そうじゃなくて,

リン・シュエツェンです。

井上: リン, ジェ, ツェツン…。

林: リン・シュエツェンです。日本人には

難しいむずかしいみたいですね。(笑う)

井上: え, え, ええ。

(気まずい顔)



気まずい顔がふ



親切心しんせつしん

気分を悪わるする

林さんは、井上さんに正しい発音を教えてあげようという親切心しんせつしんから何度も訂正したのですが、井上さんは気分かみんを悪わるしたようです。林さんのマナーでよくないところはどこですか。